

NO. 965  
発行  
2018年  
12月13日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
加藤 秀夫  
編集責任者  
教 宣 部

# 長い間、ご苦勞さまでした

2018年度・地本退職者激励会が11月17日(土)開催されました。

第一部は地本事務所で第二部は会場を変えて秋葉区「枅形屋」で開催されました。

今年度の退職者は9名で出席は4名でした。全体で16名の出席でした。

司会は清野執行委員。第一部は11時から地本事務所で司会の清野執行委員から「長い間がんばってきた」とごさきありがとうございました。国鉄の分割・民営化の闘いの中、国労で頑張ってきた。これからは、エルダーでも国労で、そして退職者組合へ加入をお願いします。



その後、加藤委員長のあいさつ、来賓では、退職者組合の儀藤事務局長からあいさつがありました。そして、退職者の紹介及び賞状の授与がありました。最後に全体の記念撮影がありました。

第一部が終了し第二部の会場へ移動しました。懇親会会場は秋葉区「枅形屋」で開催されました。

第二部では、儀藤さんの乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。しばらく御歓談していただいて、退職者からそれぞれあいさつがありました。

はじめに、直江津地域分会の池田さん・そして、新潟運輸区分会の石田さん・東新潟機関区分会の藤井さん・中越地域分会の福富さんから、それぞれあいさつがありました。

## 退職者組合 儀藤事務局長あいさつ

来賓あいさつでは、退職者組合から儀藤事務局長からありました。あいさつでは「大変長い間ご苦勞さまでした。今後も運動発展に寄与して欲しい。国鉄の分割・民



営化の闘いから一緒に運動を進めてきた。ずっとやってきた。エルダー出向や職場に残る人もいる。出向することも選択肢だ。歳とともに体力が落ちる。自分の健康管理だけは、自分自身で維持していくこと。充分注意していくこと。働き、生活することを考えて欲しい。

## 退職者組合へ加入を

労働組合の必要性を訴えていくこと。年金は賃上げがない、改善されない。自公を倒して私達の要求を考えていく政党を応援しよう。

退職者組合への加入をお願いしたい。組織状況は400名弱となっている。年々少なくなってきた。

退職者組合の組織状況も大変な時期となっている。退職者組合は協力して一緒に運動を取り組んでいく。

健康が第一だと思う。私達と一緒に運動をお願いしたい。



## 加藤委員長 あいさつ



大変、出席ありがとうございます。感謝申し上げます。

本日、出席の池田さんは、トキめきへ出向しその後、長岡へ転勤となった。その後、エルダー出向で警備会社で勤務している。

石田さんは、予定ではエルダー出向で車掌業務となる。初めての本体エルダーとなる。今後がんばって欲しい。

藤井さんは、組合活動とうたごえ、機関紙の編集などありがとうございます。

福富さんは、執行委員を今後もよろしくお願ひしたい。退職するまで執行部でお願ひしたい。

皆さんは、1965年、小学校に入学した当時を話してみたい。1965年・昭和40年～佐藤首相、戦後初めて沖縄訪問・ソ連の宇宙飛行士初宇宙遊泳に成功・新潟大学教授、水俣病を発表・テレビアニメ「オバケノQ太郎」放送開始・プロ野球第1回ドラフト会議・みどりの窓口を開始など。

長い間、ご苦勞さまでした。

退職者からあいさつ

その後、退職者の紹介と賞状が授与されました。そして全体の記念撮影がありました。

第一部が終了し第二部の会場へ移動しました。懇親会会場は、秋葉区の枳形屋で開催されました。

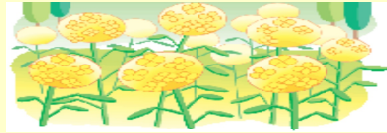
第二部では、儀藤さんの乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。しばらく御歓談して頂き、退職者からそれぞれあいさつがありました。その後、退職者から、それぞれあいさつがありました。



退職者激励会を開催していただきありがとうございました。鉄労から復帰して37年間、国労として今日迎えることができた。奥さんからも感謝がありました。

直江津から酒田、そして直江津など車掌としてトキめきへも転勤した。最後に新津運輸区へ転勤。

人とのつながりが広がったのは国労に、いたからだと思う。現在はエルダー出向で本体勤務となったが新津に来てセコムへ7月から出向となっている。超勤が多く、毎月28時間、8月は40時間となっている。プロパー社員は月14万円で3年間試用期間で受験資格が与えられるがなかなか合格しない。5人いるが、9年勤務しているが社員になれない。最賃は時給830円。会社は労働組合がある。厳しい労働環境になっている。本体エルダーに残る人は、がんばってください。



昭和57年、最後の国鉄採用だった。長岡運転所へ配属されてから、どこへも出ていない。3ヶ月水上、長岡、直江津2ヶ月、行ったくらいだ。職場は、構内、検修、PRC、NTSへ。

その後、60歳以降も嘱託社員で出向となりNTSへ行っている。

NTSでは仕業検査を担当、6年後、職場はプロパーだけになる見通しだがプロパー社員が育っていない。

趣味で、楽器はホルン奏者で演奏活動をしている。



あゝ退職者

その後、分会代表から、それぞれ退職者への紹介や思いなどあいさつがありました。浅見さんからはギターを持参していただき国鉄のうたこえの曲を歌っていただきました。俺たちのシルクロード・操車場恋歌など歌いました。最後は、参加者全員で国鉄労働組合歌を歌いました。



本日はありがとうございました。1977年に国労に加入、上沼垂運輸支所の構内業務、検修、そして新幹線へ転勤し上沼垂支所に戻って地域間移動に行った。その後、車掌となった。

自分の考えで国労に加入した。新潟は国労、動



労が少なく鉄労が多かった。

国鉄受験のための勉強会を国労が開始した。合格後は国労加入へと指導し取り組んだ。勉強会で100名の国労加入となった。

国鉄の分割・民営化の闘いの時は新幹線の事業開発部にいた。文鎮作りをしていた。当時は100万人署名活動についてみんなともめていた。しかしやりきったのではないか。

それで力を結集して取り組んでいた。なるようになると日々送っていた。

身体が続く限り本線に乗って乗務し続けたい。



退職者激励会を開催していただきありがとうございました。

しかし、今日は当事者であり主催者でもあり、複雑な心境だ。

1978年に国鉄に入り、吉田支所に3年、新潟運輸所に6年、そしてJR以降、東新潟機関区へ。



吉田に配属になってから、青年部長、分会執行委員、支部執行委員、地本執行委員とほとんど組合役員をやってきた。地本はもう15年は越えている。

そして、うたごえ運動も合わせて取り組んできた。「風雪」「母さんの樹」などや地域でも文化運動を取り組んできた。今は、バンド活動をやっている。ライブハウスやいろいろなところで演奏しているしストリートライブは毎月やっている。もう17年くらいになる。

組合活動ではいろいろ勉強になった。特に教宣活動・機関紙編集など指導していただいた。今、それが生かされている。そして沢山の仲間と出逢えることができた。素晴らしい財産となっている。